



年頭の御挨拶



はいさい、ぐすーよー ちゅーうがなびら
明けまして おめでとうございませう。

県民の皆さまには、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症対策に県民一丸となって取り組んだ一年となりました。医療従事者の皆さま、そして県民及び事業者の皆さまの多大な御理解と御協力に対し、改めて感謝申し上げます。

沖縄県は昨年5月下旬に緊急事態宣言の対象地域として指定され、約4ヶ月間にも及ぶ社会経済活動の制限により様々な分野で深刻な影響を受けました。今年は感染拡大防止対策を講じつつ、県経済の早期回復と県民生活の安定に向け、引き続き各種支援を実施するとともに、アフターコロナを見据え、新たなビジネススタイルへの移行を前提に業態転換などの事業再構築支援や、新規事業創出等に取り組んでまいります。

沖縄県は今年5月15日に、本土復帰から50周年を迎えます。この大きな節目に記念式典を始めとして、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭「美ら島おきなわ文化祭2022」の開催など、様々な分野の記念事業を県民の皆さまにも参画いただきながら実施することとしております。記念事業を通して、沖縄の復帰から今日までの歴史を振り返り先人達の労苦と知恵を学ぶとともに、自然や文化等の魅力を共有し、産業等の新たな展望等を国内外に広く発信してまいりたいと考えております。

また今年も、沖縄県の新たな振興計画がスタートする重要な年でもあります。新たな計画では、SDGsを取り入れ、社会・経済・環境の三つ

の側面が調和した「持続可能な沖縄の発展」と「誰一人取り残さない社会」の実現を目指してまいります。また、ウィズコロナからアフターコロナの新しい生活様式に適合する「安全・安心で幸福が実感できる島」を形成し、沖縄県の自立的発展と住民が豊かさを実感できる社会の実現を図るため、計画策定後は各種施策を積極的に展開してまいります。

米軍基地問題については、昨年5月、本土復帰50周年に向け、政府に対し在沖米軍基地の整理・縮小や基地負担の実質的軽減など6項目について新たに要請を行いました。今年も沖縄の米軍基地問題について引き続き日米両政府へ訴えるとともに、国内外への情報発信強化などにより、目に見える形で過重な基地負担軽減が図られるよう取り組んでまいります。

復帰50周年の「新時代沖縄の到来に向け、「沖縄らしい優しい社会」を構築し、島々の鼓動、人々の輝き、限らない沖縄の可能性を存分に引き出し、「誇りある豊かさ」の実現に取り組んでまいります。県民の皆さまには、引き続き県政への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとりまして明るく希望に満ちた年となりますよう祈念いたしまして新年の御挨拶いたします。

くとうしん ゆたさるぐとう うにげーさびら
(今年も よろしくお願いいたします。)

令和四年一月一日

沖縄県知事 玉城デニー



はたの 献血 キャンペーン



献血バス運行スケジュール